

令和4年度山形県生活習慣病検診等管理指導協議会
消化器（胃がん・大腸がん）部会議事録

日時:令和5年2月20日(月) 15:30～

場所:オンライン開催(zoom)

《 次 第 》

1 開 会(進行:県がん対策・健康長寿日本一推進課 前田課長補佐)

2 あいさつ(県健康福祉部 阿彦医療統括監)

3 協 議

(1)令和3年度胃がん検診、大腸がん検診の実施状況について

(2)胃がん検診における偶発症例について

(3)消化器がん検診実態調査の結果について

(4)令和4年度がん検診精度管理調査結果について

(5)山形県健康診査実施要領の改正について

(6)その他

(1)令和3年度胃がん検診、大腸がん検診の実施状況について

事務局説明概要

▶資料1(胃がん検診)

・受診者、受診率は回復傾向、精検受診率は下降傾向(令和3年度は前年度比で微増)。精検受診率が許容値(70%)以下は、戸沢村(60.0%)

・要精検率が許容値(11.0%以下)を超えている白鷹町(11.3%)の実施機関別内訳(やまがた健康推進機構南陽センター7.5%、白鷹町立病院、14.1%)

▶資料2(大腸がん検診)

・受診者、受診率は回復傾向、精検受診率は下降傾向(最上地域改善したが、鶴岡市、戸沢村、舟形町で低い)

・要精検率の高かった最上町は改善。朝日町の要精検率 11.3%の内訳(総合健診センター7.4%、町立病院 24.4%)

武田議長

新型コロナの影響で、若い世代での受診者数が若干減少したということかと思います。また胃がん(X線)検診の要精検率が地域別でみると高いところが残っています。これは市町村で多少絞り込めるかと思います。内視鏡検診も徐々に普及してきています。一番大きいのは職域検診が2:1の割合でメジャーになっていることかと思います。精検受診率は少しずつ上がっていますので、引き続き今後の経過をみながら進めていきたいと思っています。委員の皆様いかがでしょうか。

(意見なし)

芳賀委員

受診勧奨について、昨年、県から検診機関へ文書を出していただきましたが、一昨日の井上先生の講義でもあったように検診機関の意識レベルを高くすることが一番大事であると思います。例えば全日労や推進機構は改善しましたが、他の機関について、文書を出した後の反応はいかがでしたか。

事務局

本日検診機関の皆様が参加されているので直接お聞きしていただいてもいいでしょうか。

武田議長

可能であればコール・リコールに関して検診機関の方いかがでしょうか。実際に現場ではコール・リコールについては、検診機関と市町村のどちらの働きかけがメジャーでしょうか。そのあたりも教えていただければありがたいです。

事務局

住民検診は市町村がコール・リコールを担っているかと理解しています。職域検診については本日参加の検診機関の方いかがでしょうか。

やまがた推進機構

こちらからは職域職員へ年に 2 回レターで勧奨しています。今年から事業所を通さず、個別に葉書を送付しております。女性で受診率が低い年代の方には事業所を選択して連絡しています。個別に連絡して悪い反応はないので、プライバシーに配慮しながら少しずつ個人アプローチを進めていきたいと思っています。

武田議長

試みとしては個別の勧奨で上手くいき始めているということをお伺いしました。芳賀先生よろしいでしょうか。

芳賀委員

手間暇はかかりますが、個別の介入が大事であると感じています。ただマンパワーの関係で難しい施設もあるかと思いますが、最も効果が上がるのはこの方法だと考えております。どうもありがとうございました。

武田議長

併せて市町村にもアプローチを行っていくことかと思えます。大腸がんの場合は精検受診率が上がれば発見数も間違いなく上がると思われまので、注力していくべきかと思えます。大腸がんは新型コロナの影響は多少受けましたが、それほど大きな落ち込み無く進んでいることと思えます。

(2) 胃がん検診における偶発症例について

事務局説明概要

▶資料3

- ・偶発症例は、住民検診と職域検診の合計で 64 事例(8 例増加)あり入院 1 件の報告があった。

武田議長

ひとつ心配なところは腸の穿孔です。なかなか拾い上げにくい偶発症をどのようにして把握するかが常に課題になるかと思えます。今後の課題としておきます。偶発症に関してはよろしいでしょうか。
(意見なし)

(3) 消化器がん検診実態調査の結果について

事務局説明概要

▶資料4

- ・日本消化器がん検診学会全国集計に報告しており、全国値は全国集計値を引用。
- ・令和 2 年度検診のがん実態調査結果で、早期がんの割合は、胃がんが 68. 8%、前年度比 0.5 ポイント低下、大腸がんが 66.5%、前年度比で 3.9 ポイント高くなった。

武田議長

聞き逃しましたが、胃がんの早期がん率 68%は上がったのでしょうか、下がったのでしょうか。

事務局

0.5ポイント下がりました。

武田議長

はい。それと胃がん検診のまとめの表 3(腫瘍の遺残)について、令和2年度は「R2:切除しきれなかった」が少し増加しました。早期がん率が低下したことと同じですが、受診控えが原因でがんが進行したことが読み取れる結果でしょうか。

事務局

その可能性もあると思います。

武田議長

委員の皆様からそうではないとのご発言があればありがたいです。今のところはそのように見ざるを得ないということでしょうか。

(意見なし)

武田議長

令和3年度も引き続きこの数字をみていくこととします。

(4) 令和4年度がん検診精度管理調査結果について

事務局説明概要

▶資料5

- ・胃がん、評価を上げたのは3市町村、大腸がんも 3 市町村。検診機関では、大腸がんで1施設の評価が上がった。
- ・県の精度管理調査結果はまだ公表されていない。

武田議長

チェックリストでは胃がん・大腸がんの結果については少なくとも後退した箇所がない、向上の努力をされているとお見受けしました。委員の皆様からご質問等いかがでしょうか。

(意見なし)

武田議長

大変かと思いますが、引き続きランクが上がりますよう、よろしくお願い申し上げます。

(5) 山形県健康診査実施要領の改正について

事務局説明概要

▶資料6

- ・鶴岡市からの意見を踏まえて、深達度が判明しなくともがんと診断した施設で記載し返送するというような取り扱いとし、注意書きにしております。

武田議長

まず新旧対照表と回報書を分けて進めていきたいと思えます。新旧対照表のところでご質問・ご確認いかがでしょうか。胃がん検診の対象者は 50 歳以上としたものの、それ以外の世代の方も排除はしないとの書き方になっております。

(意見なし)

武田議長

回報書は 3 年間の議論の後によりやく形が固まってきました。2 つポイントがあります。一つは国に提出する報

告書の項目に形が合うように葉書を作成しました。2 つ目はなるべく早期に提出できるようにしました。これはご開業の先生で内視鏡を施行し、がんが発見されたら、その場ですぐに葉書が提出できるようにしました。この2つのコンセプトで構成されています。ここで固まると令和 6 年度から開始することになるかと思えます。議長からで申し訳ないのですが、確認としてお示しします。例えば、葉書が来ました、その後にご開業の先生または病院へ行き、早期がんでも進行がんでも基本的にそこでがんが判れば回報書を記載して一旦出してほしいという流れです。どうしても精密検査や治療後に記載してほしいという場合は、患者さんに持たせて後日結果が出てからでも場合によっては許容する、という大きな流れになっています。こちらはそれほどの数ではないと思われしますので。

回報書の案で、「最終的な診断をした施設から提出してください。」のところで、最終診断という言葉が誤解を招かないかと思ったところです。胃がんなら手術をして本当に最終的な深達度診断、進行度診断までいかないと、回報書を返せないと解釈される先生も多いのではないかと。なので、回報書は深達度を問わずがんと診断された施設から提出してくださいという、最初に発見された段階で葉書を提出してくださいというメッセージの文章に変更したいと思いました。皆様大きな流れや文言につきましてもいかがでしょうか。

芳賀委員

武田先生が言われたように私もここを読んで思っていました。やはりそのように記載していただいた方がよろしいかと思えます。

武田議長

がんと判ったらすぐに葉書が戻ってくるという言葉の仕掛けにしたいところです。

事務局

承知しました。

武田議長

いい文言の検討をお願いしたいと思います。鮭川村の黒坂委員、何かご発言いただければと思いますがいかがでしょうか。

黒坂委員

回報書が細かく精密検査の結果が表記されるということで市町村でも今まで把握しきれていなかった部分も把握できるのでとてもいい回報書になると感じています。

武田議長

ありがとうございます。その他ご発言はいかがでしょう。会が終了後、細かくみられて改善した方がいいというところがあれば事務局に直接お知らせをいただくのもよいと思います。事務局、回報書までよろしいでしょうか。

事務局

ありがとうございました。

武田議長

基本的にはお認めいただいたということで、細かい文言の修正は引き続きというところでまとめさせていただきます。

(6)その他

阿彦医療統括監

大腸がんの検診成績で、朝日町の要精検率が高いです。特に町立病院の要精検率が 24% 台で高すぎます。使用している検査キットが目視判定である状態でしたので、これについてはこの会からの意見ということで検査キットの変更など、消化器学会で選定しているカットオフ値で判定できる方法をお伝えして見直しを求めるといってよろしいでしょうか。

武田議長

はい。最上町が改善をしていただきましたので、同じように朝日町にもご依頼を続けていくことになろうかと思えます。お願いをしていくということで事務局よろしいでしょうか。

事務局

引き続き朝日町に依頼していきます。

武田議長

阿彦先生ありがとうございました。その他委員の皆様からいかがでしょうか。
(意見なし)

以上